

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境基本計画推進経費		担当部局庁	総合環境政策局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度～		担当課室	環境計画課			環境計画課長 近藤 智洋	
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 環境政策の基盤整備 9-1 環境基本計画の効果的実施				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第15条		関係する計画、通知等	環境基本計画 (平成24年4月27日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第四次環境基本計画において、今日の環境に関する状況・課題を幅広くかつ的確に把握し、長期的な視野に立って我が国の環境政策の方向性を提示することで、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成24年度においては、第四次環境基本計画における今後の環境政策の展開の方向に基づいて環境政策を立案、実行していくため、社会経済の状況や国際情勢等を統合的に捉えた環境政策のあり方に関する調査検討を行うとともに、環境基本計画の進捗状況の点検のため、総合的環境指標の検証及び充実化、各主体における取組状況の把握を行った。 平成25年度においては、本年度より実施する中央環境審議会総合政策部会における第四次環境基本計画の進捗状況点検に関する審議に資するため、環境政策のあり方の検討、総合的環境指標の充実化のための調査検討、各主体の意識・取組状況の把握を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	19	28	18	22	22	
	執行額	18	23	15				
	執行率(%)	95%	82%	83%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は環境基本計画の策定及び計画内容の効果的実施のための調査・分析・検討を行うものであり、定量的な指標を以て成果を測定することは困難である。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は環境基本計画の策定及び計画内容の効果的実施のための調査・分析・検討を行うものであり、定量的な指標を以て成果を測定することは困難である。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
				( — )	( — )	( — )	( — )	
単位当たりコスト	—(円/ )		算出根拠	本事業は環境基本計画の策定及び計画内容の効果的実施のための調査・分析・検討を行うものであり、定量的な指標を以て成果を測定することは困難である。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	22	22					
	計	22	22					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	環境基本計画に基づく施策の進捗状況の把握、同計画において今後の検討課題としている新たな指標の検討などを行うため国自らが実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価落札方式による一般競争を実施することにより競争性は確保されている。また、随時業務打ち合わせを実施し、進捗状況を把握し適切な業務執行に努めた。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	専門家で構成する検討会等を開催することにより、専門的な知見を踏まえた検討を行うなど高い実効性を確保した。なお、本事業の成果は中央環境審議会での環境基本計画の進捗状況の点検において活用した。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業により、PDCAサイクルを実効的なものとする事で、新たに策定された環境基本計画に基づく施策が効果的に推進される。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	入札者数を増やす工夫をした上で調査等においては効率的に事業を行うこと					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	平成25年度において、入札期間を前年度より延ばした結果、入札者数が増加した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	266	平成23年	256	平成24年	263

環境省  
15百万円

事業全体の統括を行う。



【一般競争入札・請負】

A. みずほ情報総研株式会社  
15百万円

第四次環境基本計画における指標の充実化をはかるための検討、各主体の意識・取組状況等の調査を実施する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.みずほ情報総研(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため、任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。         </div>				
計			15	計	
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研株式会社	第四次環境基本計画の着実な推進に向けた調査業務	15	1	99%